

クボタシーアイ株式会社 栃木工場

1. 事業概要

住所	〒321-3426 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 番地
従業員数 (協力会社)	92(54)名 (H26(2014).4.1現在)
敷地面積	107.845㎡
事業内容	塩ビパイプ・継手、ポリエチレンパイプ・継手の製造



主要製品

ビニルパイプ、継手

(水道・農水用、下水道用、建築設備用、電力・通信用、土木用)

水道配水用ポリエチレンパイプ
真空下水道用ポリエチレンパイプ
架橋ポリエチレンパイプ
ポリブテンパイプ
付属品類



下水道用パイプ
下水道用マンホール継手

工場変遷(沿革)

昭和47年	(1972)	シーアイ化成(株)栃木工場新設工事着工
昭和48年	(1973)	第1期工事完成 パイプ(NTTパイプ、中口径パイプ)生産開始 JIS表示認定工場(硬質塩化ビニルパイプ) 第2期工事完成 射出成型品生産開始
昭和54年	(1979)	第3期工事完成 パイプ(小、大口径)生産開始(上尾工場より移管)
昭和63年	(1988)	インジェクションにて塩ビ成型継手を生産開始
平成 3年	(1991)	リブパイプの生産を開始
平成 8年	(1996)	真空下水用ポリエチレンパイプの生産開始 架橋ポリエチレンパイプの生産開始
平成11年	(1999)	環境ISO14001認証取得
平成12年	(2000)	品質ISO9001認証取得
平成13年	(2001)	塩ビパイプ保管用上屋が完成
平成16年	(2004)	クボタシーアイ(株)設立('05.4)を発表
平成17年	(2005)	ポリエチレンパイプ工場を移設し、パイプ工場に統合 クボタシーアイ(株)発足 (シーアイ化成(株)栃木工場をクボタシーアイ(株)栃木工場と シーアイ化成(株)栃木工場に分割) ポリブテンパイプのJIS表示認定取得
平成18年	(2006)	自家発電設備を導入(エネサーブ) ポリブテンパイプ、水道用ポリエチレンパイプの設備増強(小田原工場より移管)
平成22年	(2010)	自家発電設備を撤去 震災による被害により生産停止を余儀なくされた
平成25年	(2013)	貫流重油ボイラーを廃止し電気ヒートポンプを導入

クボタシーアイ株式会社 栃木工場

2.環境方針

ISO環境方針

クボタシーアイ株式会社 及び 株式会社九州クボタ化成は、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

理 念

私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざし、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

方 針

1. 製品の設計・開発、製造から出荷までの各段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善する事によって、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進するとともに環境リスクの低減及び環境汚染の未然防止に努めます。
3. 私たちは、自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
4. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
5. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
6. この環境方針を、当社で働く人 及び 当社の為に働く人に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
7. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。またこの環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人も入手可能とします。

平成26年6月1日

クボタシーアイ株式会社
製造部門 担当役員

山本 芳樹

ISO認証取得状況

平成11年（1999）	環境ISO14001認証取得(審査機関:高圧ガス保安協会) シーアイ化成(株)栃木工場で登録
平成17年（2005）	クボタシーアイ(株)栃木工場で登録変更
平成18年（2006）	2004年版移行
平成23年（2011）	環境ISO14001認証全工場での統合取得(審査機関:日本科学技術連盟)

クボタシーアイ株式会社 栃木工場

3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度	2013年度	
					実績	自己評価 ※4,5
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位※2	2008	▲14%	▲11.4%	△
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲14%	▲10.3%	△
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲14%	▲46.0%	◎
		再資源化率※3	2008	99.5%以上	99.9%	○
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲21%	▲22.8%	◎
化学物質の管理	VOC※1の削減	VOC排出原単位	2008	▲21%	▲20.1%	△

※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は基準年度の値を使用します。

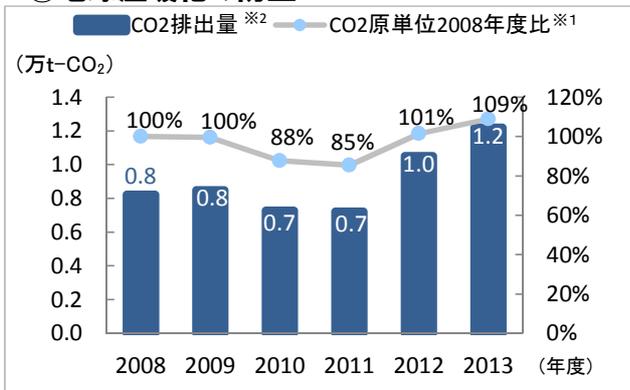
※3 再資源化率(%) = (有価物売却量+社外再資源化量) ÷ (有価物売却量+社外再資源化量+埋立量) × 100
社外再資源化量には熱回収量を含みます。

※4 ▲は「マイナス」を意味します。

※5 自己評価の基準 ◎目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

4.環境パフォーマンス

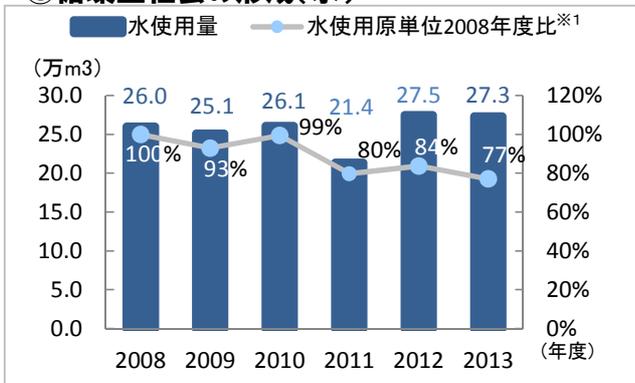
①地球温暖化の防止



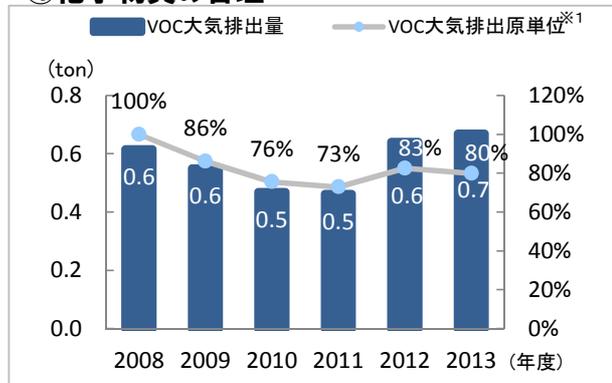
②循環型社会の形成(廃棄物)



③循環型社会の形成(水)



④化学物質の管理



※1 原単位2008年度比:2008年度の生産トン数ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※3 2013年度より社外再資源化量に熱回収を含んでいます。従来どおり熱回収を含まない場合の再資源化率との差は軽微です。

クボタシーアイ株式会社 栃木工場

4.環境パフォーマンス(つづき)

PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2013年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
239	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
300	トルエン	594	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
305	鉛化合物	0	0.0	0.0	0.0	0.0	245.0

5.環境トピックス

- 1)2013年7月、製造工程で使用する温水の熱源を重油ボイラーからヒートポンプに変更しました。重油の使用がなくなったことでCO2排出量が低減しました。
この省エネ活動により、関東地区電気使用合理化委員会委員長表彰で栃木地区最優秀賞を受賞しました。
- 2)コンプレッサードレン用の油水分離装置を導入し、水混じり廃油の産廃排出量が低減しました。
- 3)省エネの為、工場内照明を水銀灯から蛍光灯に順次切り替えています。

6.環境コミュニケーション

地域美化活動

名 称

集中5S活動(工場西側側道路掃除)

日 付

春、夏:雑草取り、秋:落ち葉掃除

参加者:40名

名 称

クリーンキャンペーン参加

(主催:連合栃木芳賀地協)

日 付

H25年9月29日 参加者:8名



クボタシーアイ株式会社 栃木工場

7. サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	5,742	
水使用量	万m ³	上水	1.4
		地下水	25.9
		合計	27.3

OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	12,181
---------------------	-------------------	--------

主要ばい煙発生施設		-		
項目	単位	規制内容	規制値	測定値
排出ガス	SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h	ばい煙発生施設なし	
	NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		
	ばいじん	g/m ³ N		

排水量	公共用水域 万m ³	27.3091	
	下水道 万m ³	-	
汚濁負荷量	COD	kg/年	-
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

排水	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	7.9, 8.2
		BOD	mg/l	20	5
		COD	mg/l	-	-
		窒素	mg/l	60	0.66
		りん	mg/l	1	ND
		六価クロム	mg/l	0.1	ND
		鉛	mg/l	0.1	0.02
		COD総量規制値	kg/日	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-
下水道		pH	最小値, 最大値	-	-
		BOD	mg/l	-	-
		COD	mg/l	-	-
		SS	mg/l	-	-

廃棄物排出量	t	115
再資源化率	%	99.9%